

目標達成計画

作成日：平成 25 年 4 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	エスケープ予防のため玄関の施錠をしている。	エスケープ事故の減少 安全に過ごす。	玄関の施錠を行なう事でエスケープの予防を行う。入居者が外へ出たいと訴えがあればその都度 外へ一緒に出かける。様子を観ながら開放できるよう職員の意識づけをし入居者の個別ケアに努めていく。	12ヶ月
2	27	普段での情報の共有は、できている。気づきや何かあった時の対応などが記載できない時がある。	職員間での情報の共有	朝の申し送りでの情報は、できているが申し送りが短時間で終わってしまい全体に行き届かないときがある。全体で検討し記載の重要性を再認識する。	5ヶ月
3	48	ご本人がしたい事よりできるからやっってもらう場面が多くある。	気分転換できる空間作り	会話が楽しめる方に関しては把握できているが身体的機能の低下や訴えできない方に対し情報や行動から汲み取る。他家族からも情報をもらう。それぞれ外出の目的も違うため個別に対応できるようにする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。